

2

そして、バトンは渡された

▶ 瀬尾まいこ／文藝春秋 刊 ¥1,600

◇瀬尾まいこさんご本人からコメントを頂きました◇

高校図書館のいちおし本、2位に選んでいただき、ありがとうございます。何をしている時もキラキラとまぶしい高校生の皆さんにこの本を手にとっていただける機会になるかとも思うととてもうれしいです。ありがとうございました。



3

みえるとか みえないとか

▶ ヨシタケシンスケ・さく、伊藤亜紗・そうだん アリス館 刊 ¥1,400

◇ヨシタケさん、伊藤さんからコメントを頂きました◇

この度は選んでいただき、本当にありがとうございます。この本が、自分と他人の違いと同じところを認識する難しさ、大切さ、面白さを考えるきっかけになってくれたら、とても嬉しいです。もともとした伊藤先生の本来、ぜひ読んでみて下さい。(ヨシタケシンスケさんより)

「ふつう」はむずかしい。いや「ふつう」なんてないのかも。目が三つある宇宙人からすれば、我々は「目が一つ欠けている不完全な生物」だろう。空を飛べる鳥からすれば「地面に縛られた不自由な動物」だ。障害って何？健康って何？あなたの体について、そしてあなたと違う体を持った人とのつきあい方について考えるきっかけになれば。(伊藤亜紗さんより)



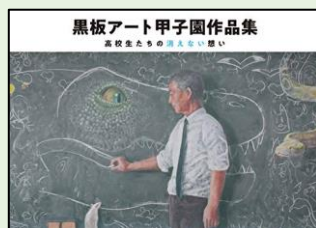
4

黒板アート甲子園作品集 高校生たちの消えない想い

▶ 日学株式会社・総監修／日東書院本社 刊 ¥3,600

◇担当編集者さんからコメントを頂きました◇

毎日眼にしている黒板が、世界でたったひとつのキャンパスになる。これが黒板アート甲子園の根幹です。高校生たちが独自の発想でさまざまな表現した作品は、見る人にそれぞれの青春を思い起こさせてくれる力強さがあるものと信じています。皆さんにも楽しんでいただけますように！



5

愛なき世界

▶ 三浦しをん／中央公論新社 刊 ¥1,600

◇三浦しをんさんご本人からコメントを頂きました◇

この本の主人公は、植物の研究をしています。理系の勉強は苦手だと感じているひと(私もそうです!)にも、おもしろく読んでいただけるよう心がけて書きました。身近な存在だけに謎がいっぱいな植物の世界を、お楽しみいただければ幸いです。おいしいご飯も登場しますよ。



埼玉県の高校図書館司書が選んだ イチオシ本 2018

第1位

古生物のサイズが実感できる！

リアルサイズ古生物図鑑 古生代編

土屋健 著
群馬県立自然史博物館 監修
技術評論社 刊 ¥3,200



投票者コメントから

古生物が日常の中に紛れ込んでいるので、実際のサイズがよく分かる。どこにいるのか探すのも楽しい。手に取った生徒はみんな笑いながらページをめくっていた。

◇◆◇土屋健さんご本人からコメントを頂きました◇◆◇

部活動や勉強に疲れた時、肩の力をぬいて楽しめる古生物本はいかがですか？約5億4100万年から約2億5200万年前の「古生代」に実在した動植物。そのサイズ感を直感的に味わうことができるこの本で、青春のひとときをすごしてくれるのなら、著者としてとても嬉しいです。一人でニヤニヤ、友人や恋人と一緒にワイワイ。ぜひ、楽しんでください。

6

AI vs. 教科書が読めない子どもたち

▶ 新井紀子／東洋経済新報社 刊 ¥1,500

◇新井紀子さんご本人からコメントを頂きました◇

みなさんは AI やロボットが活躍する時代に大人になって社会に参加していきます。そのとき、あなたは AI やロボットを使いこなす側でしょうか。それとも AI やロボットに使われる側になってしまうのでしょうか。それを左右するのは、基礎的な読解力と人間=ホモサピエンスとしての生きる力です。できるだけ多くの方が、前者になることを願ってこの本を書きました。



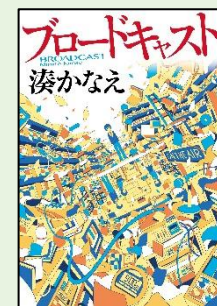
9

ブロードキャスト

▶ 湊かなえ／KADOKAWA 刊 ¥1,500

◇湊かなえさんご本人からコメントを頂きました◇

『ブロードキャスト』は十代の人たちに向けて書いた作品です。さまざまな悩みを抱えながら「放送部」でドラマ作りに奮闘する登場人物たちに、「放送部」でない方々も、自分を重ねながら読んでもらえると思います。



9

意味がわかるとゾクゾクする超短編小説 54字の物語

▶ 氏田雄介・作、佐藤おどり・絵
PHP 研究所 刊 ¥1,000

◇氏田雄介さんご本人からコメントを頂きました◇

54字の物語は、1話が54文字ぴったりの物語が90話収録された、意味がわかるとゾクゾクする超短編小説集です。……と、ここまででちょうど54文字です。この短い文字数の中にどれだけのストーリーを詰め込めるかに挑戦したのがこの本です。皆さんも挑戦してみてください！



8

青少年のための小説入門

▶ 久保寺健彦／集英社 刊 ¥1,650

◇久保寺健彦さんご本人からコメントを頂きました◇

イチオシ本に選んでいただき、ありがとうございます！この作品は、まったく境遇の違う青年と少年がタッグを組み、おもしろい小説を書くために悪戦苦闘する物語です。小説に限らず、読書には、だれかの人生を変えてしまうパワーがあります。どんなジャンルでも構いません。まずは一冊、気になる本を読むところから始めてみませんか？



7

風に恋う

▶ 額賀滯／文藝春秋 刊 ¥1,600

◇額賀滯さんご本人からコメントを頂きました◇

『風に恋う』は埼玉を舞台に吹奏楽に青春をかける高校生と、彼等を指導するコーチの物語です。埼玉県立越谷北高校を取材したことが、物語の方向性を決定づけることになりました。だからこそ、登場人物達と同じ埼玉で暮らす高校生の皆さんにぜひ読んでいただきたいです。

